

研修会報告

2023年1月12日(木) 14:00~15:30 オンライン開催 (27名参加)
第13回 ワールド・カフェ♪ ~地域で生きるために~
「在宅療養における薬剤管理の困りごと~薬剤師さんの役割を知ろう~」

西区薬剤師会副会長をお迎えし「訪問薬剤指導について、薬剤師ができる事とは」についてご報告頂きました。

その後、ブレイクアウトルームを活用し、4~5人のグループでメンバー交代をし、3回グループワークを行いました。グループ内の薬剤師や、畑中氏が質問に答えて下さいました。

西区多職種の方々にファシリテーターのご協力を頂き、ラウンドでの話し合い内容や感想を発表して頂きました。全体での質疑応答で、困りごとや解決方法等をお聞きし、薬剤師との連携について、考える機会となりました。

報告「訪問薬剤指導について、薬剤師ができる事とは」

西区薬剤師会 副会長
池上薬局
畑中 慎司 氏



ラウンドでのご意見の紹介

【ラウンド1：在宅での薬剤管理の現状と困りごと】

- ・認知症の方：服薬できていないが自己管理を希望。薬を隠す。服薬勧めても服薬を忘れる。
- ・パーキンソンの方：6回/日薬 退院後管理できない。
- ・退院時の薬変更を理解できず、退院後に混乱する。
- ・服薬回数：3~4回/日を1回/日に変更してほしい
➡在宅医に相談。薬剤師の助言も有効
- ・薬の飲み忘れ、重複、間違っって服薬、不明薬を大量発見。
- ・一包化も飲み忘れ、倍量服薬。一包化袋の開封不可も有る。
- ・複数の診療所・複数の薬局を利用している
➡かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師の利用を。

【ラウンド2：コロナ禍の薬剤管理の現状と困りごと】

- ・精神科の方：コロナ禍で受診できず症状悪化も、同じ薬が1年以上処方されていた。
- ・薬剤師訪問後感染宅と判明。残薬管理ができなかった。
➡カレンダーをビデオに撮り確認する方法もある。
- ・家族が濃厚接触者となり、薬剤管理ができなくなった。
- ・施設でクラスター発生時、ラゲブリオがすべての人に処方されなかった。大きく飲みにくい形状で困った。

【ラウンド3：薬剤師と多職種との連携上の困りごとや質問】

- ・ラコール等重い薬剤を取りにいけない
➡薬局に相談を。「訪問薬剤師が必要」と医師に提案できる
- ・薬剤師をサービス担当者会議に呼んでほしい。必要な訪問回数も相談できる。
- ・訪看と薬剤師の役割分担は？
➡在宅での薬剤管理は薬剤師がコーディネートできる

【質疑応答】

- Q：訪問薬剤師と訪問看護師の役割を、どのように分けるのか（訪問看護師）
A：薬の管理を薬剤師に任せてもらい、困りごとがあれば、その都度相談してもらいたい。
- Q：訪問薬剤師は、医師の指示の元、導入される。回数は薬剤師の判断になるのか。
A：薬局の人員にも関係する。介護保険サービスを組み合わせ、曜日ごと多職種の誰かが訪問した例があった。担当者会議で相談する事が大切である。
- Q：担当者会議への薬剤師の参加について、来やすい時間帯があれば教えてほしい。（ケアマネ）
A：昼間の時間帯13時から16時ぐらい（薬局によっても違う）がよいと思われる。

【薬剤師と多職種の連携を深めるために、気づいた事・感想・印象に残った事】

※アンケートより一部抜粋

- ・薬剤師さんにもっと 連絡や相談をしても良いんだと思った。（リハ職・ケアマネジャー）
- ・かかりつけ薬局を決める事で相談がしやすくなる事。担当者会議への参加も促せる事。（包括）
- ・ケアマネの役割として、薬剤師と連携を取れるよう、サービス担当者会議に呼ぶなど、積極的に働きかけをしていく事が重要という意見、そのようにしていこうと思った。（ケアマネジャー）
- ・薬の配薬を今までは看護師にお願いしていた。役割分担が大切と知った。薬剤師の仕事内容を把握し、担当者会議に来てもらえたらと思う。（ケアマネジャー）

多数のご意見をありがとうございました。 主催：西区医師会・西区医療介護サポートセンター